

12月会議

- P 2 給食用材料費補助金等
- P 3 委員会審議
- P 6 令和4年度決算審査
- P 8 一般質問 10人が登壇

家計を助ける
まちづくりを推進するために
事業実績・効果をチェック
相撲部屋の合宿誘致を



躍進のつばさ広げん
白鳥のまち
津幡町

冬には多くのコハクチョウが津幡町に飛来します。
町には白鳥にちなんだデザインが点在し、町民に愛されています。



- ①町内マンホール ②町内道路標識 ③消防本部制服ワッペン ④津幡南中学校校章
- ⑤役場庁舎内の白鳥時計 ⑥白鳥橋 ⑦津幡警察署マスコットキャラクター 白鳥係長
- ⑧津幡町社会福祉協議会マスコットキャラクター はーちゃん

津幡かるた表紙シリーズ 第3弾



～裏表紙に絵札紹介～

一般会計
補正予算

3億7443万円を可決

※金額はすべて1万円未満切り捨てで記載しています

家計を助ける

給食用材料費補助金等 478万円

認定こども園・小学校・中学校の給食用食材費が高騰する中、保護者負担を軽減するため、食材費の一部を追加補助。

▶中条東保育園 給食の様子



住民税非課税世帯等臨時特別給付金 1億8477万円

電気・ガス・食料品等の価格高騰により、家計への影響が大きい住民税非課税世帯等に対して、一世帯当たり7万円を追加給付。

▶通知をご確認ください



12月会議を4日から11日までの会議期間で開催した。
初日に、町長から令和5年度一般会計補正予算、条例の改正など15件の議案が提出された。
2日目に、町政全般について10人が一般質問を行った。

議案は、各常任委員会審議を経て全議案を可決し、請願2件を採択、1件を不採択とした。
続いて、人権擁護委員の推薦について同意した。さらに、議会議案として町議会議員の請負の状況の公表に関する条例・意見書2件を可決した。

制定

6年4月1日施行

町議会議員の請負の状況の公表に関する条例



議員の請負状況の透明性を確保し、議会運営の公正と事務の執行の適正化を図ります。

- 第1条目的から第5条委任までを制定
- 町に対する請負についての報告
- 報告の一覧の作成と公表
- 報告等の保存と閲覧等
- など

予算決算、総務産業建設、文教生活福祉の常任委員会と分科会で審議されたものについて、主なものを紹介します。

「のーと津幡」の反響は

- 生活環境課 -

Q 利用状況と登録者数は、
は。

A 12月4日から2日間で50人が利用している。登録者数は800人を超えている。

Q 迂回する時に細い道を走ったが大丈夫か。

A AIが指示した経路を運行しているが、危険箇所等は運転手が判断する場合もある。

※12月14日現在
・利用者数（累計）
299人
・登録者数
1007人



▶ 順調な滑り出し

まちづくりを推進するために

30万円

- 企画課 -

Q まちづくり組織支援補助金とは。

A 公民館のコミュニケーションセンター化に向けた地域への補助金。

Q 関係者への説明は。

A 今後は公民館やくらし安心ネットワーク委員会などに説明を予定している。

どまんなかフェスタ

△ 90万円

- 産業振興課 -

Q 白鳥姫募集中止の理由は。

A 近年応募者が少なく、商工会が中止を決定した。

電動キックボード等のナンバープレート

- 税務課 -

Q 特定小型原動機付自転車のナンバープレート制作枚数は。

A 50枚作製した。



▲ 確実に登録を

小学校教師用教科書教材費とは

2602万円

- 学校教育課 -

Q 教師用デジタル教科書の整備状況は。

A 今回の教科書改訂時より、全学年の全教科を整備する。

Q 使用の形態は。

A クラウド上でのデータ配信である。

公園遊具の安全確保

60万円

- 都市建設課 -

Q 都市公園の遊具の耐用年数は。

A 遊具の耐用年数は10年から15年。

Q 点検頻度は。

A 毎年専門業者に依頼して点検を実施し、さらに職員も毎月点検している。



▶ 安全安心な遊具を

12月会議で審査された請願の結果をお知らせします。

請願・陳情は、町政に対し意見や要望があるときどなたでも提出することができます。

請願には紹介議員が必要ですが、陳情には必要ありません。

採択

下水サーベイランス事業の実施を

求める意見書の提出を求める請願

◎請願者 公明党津幡支部 副支部長 福島 保志

紹介議員 道下 政博

委員会の主な意見

・事業を全国展開することで、新型コロナウイルス感染症の効果的・効率的な対策につなげられる可能性がある。

賛成

感染データは多様な角度からの観測が有効であり、下水サーベイランス事業は、感染症観測の一つの手法になりうる。

池野 翔吾 議員

反対

感染が広がっている地域にアラートを出しても対策は外出制限やワクチン接種の勧奨ぐらいしかできず、住民は不安をあおられる。事業の目的が不明瞭である。

中島 敏勝 議員

採択

医療・介護・障害福祉分野における処遇改善等を

求める意見書の提出を求める請願

◎請願者 公明党津幡支部 津幡南地区員 紅 孝志

紹介議員 道下 政博

委員会の主な意見

・介護や障がい福祉を支える人材を確保するためにも処遇改善は必要だ。

不採択

パンデミック条約締結及び国際保健規則改正に係る情報開示を求める意見書を国に送付するよう要望する請願

◎請願者 参政党第3支部 副支部長 山田 哲也

紹介議員 中島 敏勝

委員会の主な意見

・WHOでの協議内容や条約の草案を国民へ周知することは必要だが、いたずらに不安をあおるような意見には賛成できない。

賛成

国民の健康と生活に関する重要な世界の決まりを協議しているのに、ほとんどの国会議員が知らない状態なので、きちんと情報開示するよう意見をするべき。

中島 敏勝 議員

反対

不必要に不安をあおるような文章が請願書中に見られるため、請願書を採用するべきではない。

池野 翔吾 議員

議案に対する 討論

津幡町議会議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例について

反対

年金生活者や全ての非正規労働者の所得が上がない現状では、議員の期末手当を引き上げる必要はない。

塩谷 道子 議員

採決結果

12月会議 採決状況一覧

○：賛成 ×：反対 議長は採決に加わらない。「-」

議案名と主な内容	結果	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16
		池野翔吾	柴田洋一	東克彦	中島敏勝	小倉一郎	小町実	竹内竜也	八十嶋孝司	西村稔	酒井義光	塩谷道子	多賀吉一	向正則	道下政博	谷口正一	河上孝夫
議案 15件 議案の一部を2ページで紹介																	
令和5年度町一般会計補正予算(第8号) 出産・子育て応援交付金事業費や子ども医療給付費など (3億7443万円の増)	可決	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○
令和5年度町国民健康保険特別会計補正予算(第3号) 償還金として(295万円の増)	可決	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○
令和5年度町介護保険特別会計補正予算(第3号) 居宅介護サービス給付費など(8695万円の増)	可決	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○
令和5年度町バス事業特別会計補正予算(第2号) AI活用型オンデマンドバス導入事業費として(2万円の減)	可決	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○
令和5年度町下水道事業会計補正予算(第3号) 災害復旧事業費など(8億1832万円の減)	可決	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○
町一般職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例について 人事院勧告に準じ、一般職の職員等の給料表の改定及び期末・勤勉手当 の支給月数を合わせて0.1月分引き上げ	可決	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○
町常勤の特別職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例について 人事院勧告に準じ、常勤の特別職の職員の期末手当の支給月数を0.1月 分引き上げ	可決	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○
町議会議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例 について 人事院勧告に準じ、議会議員の期末手当の支給月数を0.1月分引き上げ	可決	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	×	○	○	○	○	○
町会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例 について 会計年度任用職員の給料表及び手当について改定	可決	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○
町火災予防条例の一部を改正する条例について 蓄電池設備に関する単位名称や設置に係る安全基準などを改正	可決	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○
町印鑑条例の一部を改正する条例について コンビニ交付サービスにおいて、移動端末設備(スマートフォン)の利用 者証明用電子証明書を利用し印鑑登録証明書を交付できるように改正	可決	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○
町手話言語条例について 手話に対する理解の促進及び手話の普及に関する基本理念を定め、施策 を総合的かつ計画的に推進し、すべての町民が安心して暮らすことので きる地域社会を実現するために制定	可決	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○
指定管理者の指定について 河合谷宿泊体験交流施設の指定管理者に、一般財団法人津幡町公共施設 等管理公社を指定(期間:令和6年4月1日から令和9年3月31日まで)	可決	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○
町道路線の認定について 津幡104号線を町道路線に認定	可決	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○
町国民健康保険税条例の一部を改正する条例について 全世代対応型の持続可能な社会保障制度を構築するための健康保険法等 の一部を改正する法律等が施行されたことに伴う改正	可決	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○
請願 3件 4ページで紹介																	
下水サーベイランス事業の実施を求める意見書の提出を求める請願	採択	○	○	○	×	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○
パンデミック条約締結及び国際保健規則改正に係る情報開示を求める意見 書を国に送付するよう要望する請願	不採択	×	×	×	×	×	×	×	-	×	×	×	×	×	×	×	×
医療・介護・障害福祉分野における処遇改善等を求める意見書の提出を求 める請願	採択	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○
諮問 1件																	
人権擁護委員の候補者推薦につき意見を求めることについて 本田 寛美氏、洲崎 勝利氏の推薦	諮問の とおり 答申	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○
議会議案 3件																	
町議会議員の請負の状況の公表に関する条例について 2ページで紹介	可決	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	×	○	○	○	○	○
下水サーベイランス事業の実施を求める意見書	可決	○	○	○	×	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○
医療・介護・障害福祉分野における処遇改善等を求める意見書	可決	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○

「億円の使い方」をチェック

歳出 使ったお金トップ3は？



歳入 入ったお金トップ3は？



9月会議で提出された令和4年度一般会計と5特別会計、4事業会計の決算を、9月20日から10月10日にかけて審査を行い、10月会議で認定した。

総務産業建設分科会、文教生活福祉分科会で審議されたものについて、主なものを紹介します。

中山間地域等直接支払制度 町のチェック体制

Q 他町で不正問題があったが、本町で適切な支出等は無かったか。
A 担当課で総会議事録、決算書、予算書等を書類審査している。不適切なものがあれば対象から除くよう指導している。

7517万円
- 産業振興課 -

スクールサポートスタッフ 配置の効果

Q 小学校9校の配置体制は。
A 大規模校は週5日勤務とし、小規模校は週1日から3日の勤務としている。
Q どのような効果があったか。
A 教員の負担が軽減され、子どもたちとの関わりが増えた。また教材研究の時間も確保でき、教育環境の向上につながっている。

1104万円
- 学校教育課 -

私立認定こども園の 運営状況

Q 職員不足の問題があるが、職員確保はされているか。
A 人的余裕がないと見受けられる施設もあるが、職員の配置基準は満たしている。
Q 職員不足により、運営費の返還は発生しているか。
A 運営費は、施設の定員や利用児童数等で金額が決まっているので、発生しない。

8億
6752万円
- 子育て支援課 -

緊急しゅんせつ工事の 進捗状況

Q 堆積土砂除去の完了時期は。
A 工事は15準用河川のうち、4年度は5河川を実施した。6年度までに全15河川が完了する予定。

6339万円
- 都市建設課 -



5年3月に堆積土砂を除去した総門川

河川情報は
こちらから

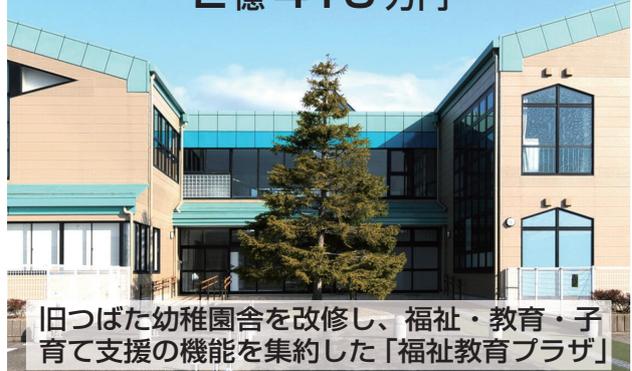
議会が注目した目玉事業

住吉公園整備事業費
15億4452万円



生涯スポーツと健康づくりに活用できる住吉公園屋内温水プール「アザレア」

福祉教育複合施設整備事業費
2億410万円



旧つばた幼稚園舎を改修し、福祉・教育・子育て支援の機能を集約した「福祉教育プラザ」

議会はこう見る

ここが課題

プレ妊活健診助成事業の周知を

子どもを望む夫婦が安心して妊娠・出産できるように、県との連携を強化せよ。希望する多くの方に利用してもらえるよう、事業の周知推進に努めよ。

大河ドラマ誘致の見直しを

これまでさまざまな取り組みを行ってきたが、一定の効果はあったものの、なかなか実現にまでは至らない。新たな切り口で本町のPRを推進せよ。

税徴収個々に応じた対応を

新規滞納者への早期対応と納付困難者への納税相談等の実施により、未納の解消に積極的に取り組むこと。また、悪質な滞納者には、法的手段を徹底し対処せよ。

議会の視点

健全な財政運営で町総合計画の推進を

津幡駅東口の整備等の大型事業のほか、災害対策事業、定住促進事業、子育て支援事業など、将来にわたり着実に実施するための財源の確保と、最少の経費で最大の効果を挙げることが求められる。

引き続き、財政健全化に向けた財政運営に努めるとともに、第5次町総合計画推進に向け、より一層積極的に取り組まれるよう要望する。



4年度決算の詳しい内容は「広報つばた 11月号」22ページからをご覧ください。



あわせて読みたい

一般質問とは

議員が町政全般にわたり、執行機関である町に対して報告や説明を求めたり、質問することをいいます。

大相撲

問 相撲部屋の合宿誘致を

答 各部屋に相談する



こまち みのる
小町 実 議員

Q 地域の活性化、町の知名度向上に効果が見込める相撲部屋の合宿誘致を考えよ。

A 後援会とも連携し、各部屋に相談したい。さらには、地方合宿だけではなく交流イベントなど、相撲を通じて町の活性化を図りたい。

Q 大の里は、町広報特使の条件が満たされたのではないかと速やかに登録を。

A 適任であると考え。広報特使への依頼については、二所ノ関部屋にすでに相談をしている。承諾を得られ次第、広報特使をお願いする。



▶今後の活躍を期待

こんな質問もありました

Q 中山間地域でのA-オンデマンドバス運行の計画は。

A のーと津幡の利用状況を踏まえて幅広く検討する。

Q 町営バス平野部5路線の廃止時期は。

A 6年3月を一つの区切りと考えている。

公民館

問 コミュニティセンター化は

答 移行に向け具体的な議論を進める



こくら いちろう
小倉 一郎 議員

Q コミュニティセンター移行に向けた計画及び予定は。

A 6年度に検討委員会を設置したい。移行に向けた具体的な議論を進め、同委員会でセンターのあり方について方針を定めたい。

Q 職員への支援は。

A 専門家の派遣や、研修会の開催、まちづくり協議会に地区担当職員の配置などが考えられる。

Q 財政的支援は。

A 現在公民館に交付している各交付金を統合し、支援したい。

こんな質問もありました

Q 改正児童福祉法に対応するための相談支援体制は。

A 専門職員の配置を検討する等、体制整備に努める。



▶子ども家庭総合支援室に気軽に相談ください

町政を問う

まちづくり

問 推進に多層的な支援は

答 財政面以外にも支援する



あずま かつひこ
東 克彦 議員

Q まちづくり推進のために多層的な支援はあるか。

A まちづくり協議会が主体的に決定・実施できる体制を支援していく。財政的な支援も行う。

Q まちづくりには、多様な関係者の参画が必要になる。本町のビジョンは。

A 第5次町総合計画に「ともに支え絆を深めるまち」を掲げており、町民主体のまちづくりや、地域コミュニティの活性化を目指していく。



▶絆を深めるまちづくり

こんな質問もありました

Q のーと津幡のドライバー確保のために普通二種免許保持者の登録を。

A 本町にふさわしい課題解決策を検討していく。

公民館

問 指定管理者制度の導入予定は

答 選択肢としてあり得る



たけうち たつや
竹内 竜也 議員

Q コミュニティセンターの運営に指定管理者制度の導入予定は。

A 選択肢としてはあり得るが、当面は本来のまちづくり組織として安定、成熟させることが重要と考える。

Q 各地区における地域運営組織設立の状況は。

A 10月に中条地区まちづくり協議会設立準備委員会が発足し、井上地区でも進行中である。他の地区においては、具体的な動きはない。



▶まちづくり協議会設立に向けて

こんな質問もありました

Q 5年度の町政運営の総括は。

A 災害の影響もあるが、ほとんどの事業は、おおむね順調。

Q 6年度当初予算の方針は。

A 子の時代、孫の時代のためのまちづくり、心豊かに今を暮らすためのまちづくりの実現に向けた予算編成を心がける。

一般質問とは

議員が町政全般にわたり、執行機関である町に対して報告や説明を求めたり、質問することをいいます。

学校給食

問 保護者負担のさらなる軽減を

答 光熱水費等の全額町負担を検討



しばた よういち
柴田 洋一 議員

Q 給食費に含まれる燃料費を除
外し保護者負担の軽減を。

A 食材費等高騰への対策として、食材費の一部を助成しているほか、光熱水費の上昇も踏まえて補正予算に計上した。さらに、来年度に向けて光熱水費等の全額町負担について検討をしている。

Q 給食調理員の働き方改革として、夏休み等学校給食がない期間でも働ける環境を。

A 勤務条件を十分に理解してもらっている。調理員が安心して働き続けられる環境づくりに努める。



▶ 自校給食での調理の様子

こんな質問もありました

Q 自校給食の維持・継続は。

A 新たに給食センターを設置するなどの計画は今のところない。経費の削減や効率面だけでなく、おいしさ、安全性、経済性、地産地消などの観点や、児童生徒数の推移、厨房設備等の老朽化の度合いも踏まえて検討する。

入札

問 町長が全く関与しない方法を

答 事務決裁規則を改正する



しおたに みちこ
塩谷 道子 議員

Q 贈賄の入り込む余地をなくするため、町長が入札に全く関与しない方法を。

A 本町では、予定価格および最低制限価格を記載する予定価格決定書は職員が作成し、町関係規則に基づき、町長または副町長が決裁のみを行っている。

今後は、町長が最低制限価格の決定に関与しない体制を取るべく、今年度中に事務決裁規則を改正する。

こんな質問もありました

Q 国民健康保険税の均等割を小学生まで半額に。

A 軽減および拡充は国全体の問題である。

Q 福祉灯油の制度を。

A 本年度は、灯油に限定した助成制度は考えていない。



▶ 高騰している灯油

町政を問う

農業

問 みどり戦略への対応は

答 取り組む農業経営体に交付金支給



いけの しょうご
池野 翔吾 議員

Q みどりの食料システム戦略への対応および町の取り組み方針は。

A 国・県・町では、地球温暖化防止や生物多様性保全に大きな効果のある環境保全型農業に対して交付金を交付している。今年度は、水稲・大豆・蓮根を生産する27の農業経営体に支給する予定である。今後も環境保全型農業の理解促進と販路拡大の取り組みを推進していく。

Q 下水汚泥の肥料資源化の可能性は。

A 汚泥処理の現状や採算性の理由から、検討の予定はない。



▶下水汚泥を活用した肥料

※みどりの食料システム戦略とは
安定的な食料供給を目指して農林水産省が定めた目標。特徴として持続可能な食料システムを実現するために環境問題も意識している。

こんな質問もありました

Q 町民の政治離れ対策は。

A 子ども議会や女性・青年議会といった模擬議会の開催も検討したい。

子宮頸がん

問 HPVワクチン接種率向上へ

答 広く情報発信・周知を行う



みちした まさひろ
道下 政博 議員

Q HPVワクチン接種率向上に向けて再度の個別周知を。

A 国からのリーフレットと接種券を個別通知している。今後も広く情報発信・周知を行い、最終期限の個別通知は接種状況を見て対応する。

Q 男性への接種費用の助成を。

A 国が検討を始めており、現時点では、その状況を注視したい。

※HPVワクチンとは

世界で80以上の国と地域で承認されている。日本では、2年7月に承認され、子宮頸がんの約90%を防ぐことができると期待されている。

こんな質問もありました

Q 5年7月の豪雨災害の反省から具体的な対策は。

A 県の対策に加え、準用河川の堆積土砂除去や、川尻雨水ポンプ場にポンプを1台追加する。



▶水が引いた後の下矢田橋

入札

問 より適切な入札システムを

答 今後も不正がないよう努める



なかしま としかつ
中島 敏勝 議員

Q 本町では変動型の最低制限価格制度を導入しているが、さらに適切な方法にすることを検討しているか。

A 定期的に入札制度や手続き等全般に渡り検討している。官製談合の防止と職員を守ることを目的に、より公正で透明な入札制度を実施するため、変動型の最低制限価格制度を導入している。
今後もし不正のない入札の執行に努める。

※変動型の最低制限価格とは
入札が終了するまで、最低制限価格が決まらない方法。

▶透明な入札制度を



こんな質問もありました

Q 不登校の原因は。

A 不登校の要因は様々であり、一概にゲームやスマホが要因であるとは言えない。

Q 学校以外の居場所とは。

A 町の公共施設が全ての児童生徒の居場所に当たる。

個人情報

問 個人情報の流出を阻止せよ

答 引き続き対策を行う



にしむら みのる
西村 稔 議員

Q 個人情報流出防止に対して、どのような対策をしているのか。

A リスクをゼロに近づけるため、引き続き対策を行う。職員教育のみならず、デジタル技術の活用により、できる限り人の手を介さない方法も検討したい。

こんな質問もありました

Q ポイント加算が落札に反映されるか。

A 落札には直接反映することはない。

Q 床下浸水した事業者へ見舞金を出せないか。

A 事業者に対しては、補助金や支援金の制度を設けている。

Q 大学誘致に努力してほしい。

A 誘致には慎重かつ戦略的なアプローチが必要であり、現時点では大学誘致のための用地確保は考えていない。

10月会議 採決状況一覧

○：賛成 ×：反対 議長は採決に加わらない。「-」

議案名と主な内容	結果	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16
		池野翔吾	柴田洋一	東克彦	中島敏勝	小倉一郎	小町実	竹内竜也	八十嶋孝司	西村稔	酒井義光	塩谷道子	多賀吉一	向正則	道下政博	谷口正一	河上孝夫
認定 10件 議案の一部を6・7ページで紹介																	
令和4年度町一般会計決算の認定について 歳入：169億4287万円 歳出：166億3502万円	認定	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○
令和4年度町国民健康保険特別会計決算の認定について 歳入：33億9078万円 歳出：33億4947万円	認定	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○
令和4年度町後期高齢者医療特別会計決算の認定について 歳入：4億4320万円 歳出：4億3529万円	認定	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○
令和4年度町介護保険特別会計決算の認定について 歳入：27億5289万円 歳出：26億9261万円	認定	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○
令和4年度町バス事業特別会計決算の認定について 歳入：1億2760万円 歳出：1億2434万円	認定	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○
令和4年度町河合谷財産区特別会計決算の認定について 歳入：18万円 歳出：18万円	認定	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○
令和4年度町病院事業会計決算の認定について 収益的収入：16億7054万円 収益的支出：13億5051万円 資本的収入：2億625万円 資本的支出：2億8187万円	認定	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○
令和4年度町簡易水道事業会計決算の認定について 収益的収入：482万円 収益的支出：428万円	認定	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○
令和4年度町水道事業会計決算の認定について 収益的収入：8億1423万円 収益的支出：6億9901万円 資本的収入：1億2524万円 資本的支出：4億932万円	認定	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○
令和4年度町下水道事業会計決算の認定について 収益的収入：14億4756万円 収益的支出：13億6803万円 資本的収入：27億8844万円 資本的支出：33億1008万円	認定	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○
議案 4件																	
令和5年度町一般会計補正予算（第7号） コミュニティ清掃事業・災害対策費など（8260万円の増）	可決	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○
令和5年度町国民健康保険特別会計補正予算（第2号） 被災世帯の一般被保険者国民健康保険税を減免（一般会計から補てん）	可決	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○
令和5年度町後期高齢者医療特別会計補正予算（第2号） 後期高齢者医療広域連合納付金（259万円の減）	可決	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○
令和5年度町介護保険特別会計補正予算（第2号） 居宅介護サービス給付費など（150万円の増）	可決	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○

報告

10月18日 視察受入
●岡山県早島町議会
議会改革・議会だよりの編集について

10月31日 視察受入
●青森県三沢市議会
観光ボランティアアガイド・津幡ブランド・つばた産推奨店について

11月6日 研修会
●石川中央都市圏議会
連絡会 行政課題研究会
「世界の観光動向と高付加価値化への取り組み」
講師 一般社団法人
金沢市観光協会
CMO 遠藤由理子氏

11月7日 視察受入
●北海道伊達市議会
津幡町デジタルライブラリーについて

11月9日 意見交換
●西田昭二衆議院議員
●岡田直樹参議院議員
●宮本周司参議院議員
津幡駅周辺地区都市再生整備に関する要望書・国道8号の整備促進に係る提言書を提出

11月17日 施策調査
●河北潟周辺議会連絡会
環境施策調査
木場潟公園の施設管理と環境対策の取り組みについて



▶水耕植物の力で
木場潟の水を浄化

11月21日 視察受入
●和歌山県太地町議会
議会のペーパーレス化・タブレット端末の導入について

9月29日 全議員参加

議会の見える化と観光資源を学ぶ

長野県飯綱町議会 

町民との連携が鍵 議会改革の工夫と効果

飯綱町議会は、住民アンケートや町民との懇談会、政策サポーター制度・議会広報モニターなど町民と一体となって議会改革に取り組んでおり、議員のなり手不足にも効果が出ていた。
町民に興味を持ってもらえる議会づくりの大切さを再認識し、本町でも検討すべき政策と制度があるのではないかと感じた。
住民本位の議会改革に向けて決意を新たにしました。

みはらしファーム 

体験型農業公園の魅力と課題は

長野県伊那市にある「はびろ農業公園みはらしファーム」では、入浴施設や各種体験農場などが集中配置されていた。通年での催しが開催されるなど、何度も訪れたいくなる公園作りの工夫がされていた。



11月1～2日 文教生活福祉常任委員会

部活動地域移行の取り組みを学ぶ

新潟県村上市

融合型部活動の誕生

村上市では、総括運営主体として総合型地域スポーツクラブであるNPO法人と市教育委員会が委託契約を結んでいる。融合型部活動という地域課題解決型の新しいカタチが特徴である。



富山県朝日町 

教員の働き方改革の一助

朝日町では、町内に1つの中学校があり、その周辺にスポーツ施設が集中している。スポーツエキスパートなどの豊かな人材と競技団体や文化・芸術関係者などの協力的な組織が連携して、新たに朝日町型部活動コミュニティクラブを創設した。
豊かなスポーツ環境を活用し、国・県の財政補助で現在は運営しているが、今後は受益者負担との組み合わせによる安定的な運営が課題となっている。

11月1～2日 総務産業建設常任委員会

多様な働き方と新交通システムを学ぶ

岐阜県養老町



関係人口の拡大と地域の魅力を
活かした持続可能なまちづくり

養老町は、閉鎖した福祉施設を改装し、大型テレワーク施設 YOROffice (ヨロフィス) を整備した。同町では、恵まれた交通環境と豊かな自然を活かし、都市部から多くの利用者を期待している。



奈良県広陵町



AI オンデマンドバスで
町内移動の充実を目指す

広陵町の AI オンデマンドバスは、本町と同じシステムを導入していることから、運行の仕組みを具体的にイメージすることができた。

同町では、5年7月から9月を無料運行で試行し、10月から有料の本運行を開始している。また、スマホ予約利用の場合は、運賃の割引制度があるなど、運営面でも独自の工夫が見られた。

11月8～10日 議会運営委員会・県森林公園活性化対策特別委員会

条例制定と森林公園活性化を学ぶ

全国町村議会議長会



町村議会を取り巻く
現状と課題

町議会議員の請負の状況の公表に関する条例の制定と請負契約の緩和について詳しい説明を受けた。

また、全国的な地方議員のなり手不足、投票率低下などの課題も学んだ。



神奈川県七沢森林公園



魅力的な公園を目指す

七沢森林公園は、面積が約65haで整備が行き届いた大変コンパクトな公園である。年間入場者数は約26万人。

園内には、さまざまな体験施設があり、年間を通じてイベントが開催されている。



サークル紹介 第57回

カタンキッズクラブ

もっとうまくなりたい
カタン熱、上昇中!

カタンとはサイコロを振って資源を集め、島を発展させていくボードゲームです。ドイツで発売され、世界中で楽しめます。

私たちは、月に一回集まり子どもと大人が一緒になってゲームをしています。年齢や学校の違う子どもたちがワイワイ盛り上がりつつ楽しんでいく姿はとっても素敵です。回を重ねるごとに作戦を考えたり、コミュニケーションをとりながら交渉したりとレベルを上げていきます。

これからもみんなで楽しくゲームをしながらカタンの奥深さを知っていききたいと思えます。

- ◆活動場所 町児童センター (町文化会館シグナス内)
- ◆活動時間 町児童センター
お問い合わせください。
- ◆連絡先 町児童センター
☎2888-3019

いまい
今井 由香梨



Q これからどんな町になってほしいですか?

A 全世代の方々が安心して過ごせる、笑顔あふれる町になってほしいです。

Q 津幡町の好きなスポットはどこですか?

A 倶利伽羅不動寺山頂本堂へ向かう道から見える景色が好きです。眺めていると心が穏やかになります。

議会と 語ろう会

津幡町の
未来を語ろう!

議会からの報告とグループに分かれての意見交換



先着
50名

2月3日(土)午前10時~
津幡地域交流センター(清水リ123-3)
(問合先)議会事務局 ☎288-6410



詳しくはこちらから

議会を 傍 聴 してみませんか

3月会議

3月4日(月)午後1時30分~

◆受付日時

提案理由の説明 3月4日(月)午後0時30分~

町政一般質問 3月5日(火)午前9時~

◆受付場所

役場庁舎4階 傍聴受付

日程は変更になる可能性がありますので、詳しくは町議会ホームページをご覧ください。左記までお問い合わせください。

(問合先) 議会事務局 ☎2888-6410

表紙の風景

〜津幡町と白鳥〜

平成2年に町の鳥として、白鳥が制定されました。

本町には冬の間コハクチヨウが河北潟沿岸に多数飛来することや、古くは白鳥神社へ飛来の古事があります。

町の各所に白鳥の姿があしらわれ、町民に愛されています。絵札には、このうち白鳥橋と道路標識が描かれています。

豆知識として、飛鳥の形をした町章は町の鳥制定以前より使用され、白鳥ではなく鷹がモチーフであるとの一説があります。



表紙の題字は

井上小学校6年
にしだ
西田 さあや
紗彩さんの作品です。



井上小学校は、1年生から6年生まで素直で明るい子が多く、苦手な事にも最後まで挑戦し続ける子がたくさんいます。また、毎朝全校でめあてを決めていますので、明るい笑顔があふれています。